

これからの統計マン

— 調査環境悪化の中で —

統計というと誰しも統計調査員の選任難、統計調査環境の悪化等の古くて新しい問題を思い浮かべるであろう。幸にして、これらの問題で統計調査ができなかったという話は耳にしたことがない。このことは統計調査員、市町村の統計関係者の多大なご支援によるところが大きいと思われる。しかし、当県においても統計調査員の老令化が進み、すみやかに若返りを図らなければならないときと思われる。当県では早くから統計調査員の組織化を図り、統計調査員の確保に力を入れてきたのであるが、老令化の問題が起きている。この統計調査員の組織を、組織として望ましい年令構成にもってゆくために、すみやかに後継者を育てる必要があると思われる。しかし、現役で職業を持っている人達にとっては、統計調査に従事するのは難しいと思うので、ある程度の老令化はやむを得ないであろうと思う。

また、統計調査環境も、都市化の波が押しよせてきており、他県同様ますます厳しいものとなってきている。このことは、人間のものの考え方、価値感に大きな変化を与えてきていると思われる。調査する方としては、これらの変化を適確に把握し、順応してゆかねばならないと思われる。

一方、被調査者からみると「統計調査が多すぎる。」「記入内容が難しい」ということがいわれている。被調査者にとれば、統計調査などはやらなければ一番よいのである。しかし、どの統計調査を取ってみても不必要なものはないと思うし、社会の高度化にともなって調査項目も複雑になるのもしかたのないことと思われる。しかし、これで良いといっているのではなく、改善してもっともっと被調査者がやりやすいようにしていかなければならないと思う。これからは、ますます統計調査に対する期待も高まり、時代に応じた新しい統計調査も必要になっ

われらトータマン

てくると思われるので、統計調査の統合整備についてはもっともっと力を入れる必要がある。これは、各統計調査機関の横の連絡をより十分に取って調整してゆかねば到底解決できない問題であるが、

ところで、いかに重要な統計調査であろうとも、いかに統合整備をしようとも、被調査者にとってみれば煩わしいことには変わりはないと思う。しかし、統計というものは、現代は情報化社会といわれているとおり、統計という一種の情報は不可欠のものである。行政機関、企業にしる同じことと思う。情報化社会では、企業にしる、個人にしるその社会で、営業権、生活権を権利として得ている以上は、義務として情報の提供は当然のことと思う。情報化社会をより良いものとしてゆくためには避けられないことと思われる。とはいっても「過ぎたるは及ばざるがごとし」という諺があるように度を越せば拒否されるであろう。

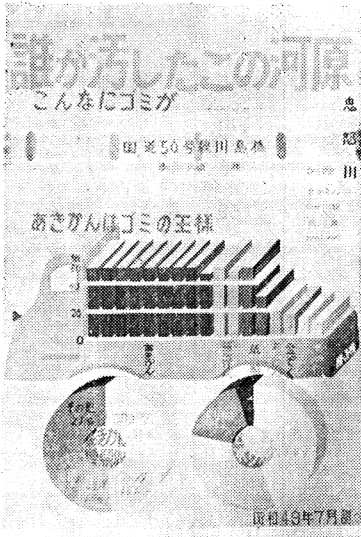
現在、話題になっている消費者物価指数はますます注目を集めることになってゆくとと思われる。この消費者物価指数によって年金のスライド制が実施されているし、将来は貯金、生命保険等も実施されることになると思われる。この消費者物価指数は、小売価格調査、家計調査をもとにして作られている。したがってますますこれらの調査結果は正確に早く作成することが強えられることになると思う。我々統計関係者も、もう一度気持ちを引き締めて取り組まなければならないと責任の重大さを痛感している。

最後に、まだまだ統計というものが一般の人々に十分に正しく理解されていない点もあるので、今以上に適切な広報活動をしてゆかなければならないと思っている。

(統計課 鈴木一郎)

統計グラフの役割と効用

統計グラフの作り方(1)



誰が汚したこの河原
 茨城県統計グラフコンクール 1席
 統計グラフ全国コンクール 特選
 結城市立結城小学校
 6年 住谷 堅 吾一
 海老原 孝

統計数字は一般に親しまれにくいといわれている。確かに統計数字は、無味乾燥ととつきにくいものである。統計数字を読む専門家にとっては、数字の示す事実をよく理解することができるが、専門家ではない一般の者にとっては、そういうわけにはいかない。

作図のルールにしたがって、よく描かれた統計グラフは、一般の人々に容易に統計数字のもつ意味を伝えてくれる。こういう意味で、統計グラフは啓蒙宣伝に用いられたりもするのである。

一般の行政事務にしても、事業の経営に当たっても、統計資料を基礎とする場合が多い。しかもこれらのつとめに当たっている人々は多忙な場合が多く、かつ統計専門家でもないことが多い。そういう人々に対しては、速かに統計の意味を理解せしめる工夫が必要である。それには数字そのものについての説明よりも、補助的言葉である統計グラフによるのが効果的である。タイム・イズ・マネーとは、無駄な時間をかけないことにある。難解な数字によらないで、わかりやすい統計グラフによる理解はこれに当たる。

グラフは機械設計における製図に相当するものである。この製図がなければ説明の方法があるまい。

統計グラフのもう一つの大きい価値は、問題の分析に用いる場合である。正しく描かれた統計グラフは、その事情を表わす一断面であって、そのデータの背後にある事実を忠実に表現するものである。また、グラフ化してみると意外な事実を発見することもある。

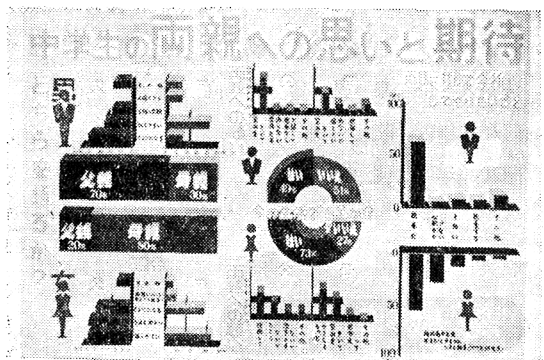
グラフは、作図のルールに従って、正確かつ明瞭に描かれることによって、はじめて前述の役割と効果を発揮しえる。作図の知識が乏しく、不用意に描かれた統計グラフは、表わそうとする要点が不明瞭なだけでなく、時には誤解を招くことになる。グラフとは、それを見た眼ですぐ理解し得ること、つまり直観的に正確に理解しえるものでなければ価値がないのである。

統計の魔術性という言葉があるが、これは統計のとり方いかんによって、いかような数字にでもなるということである。これと同様に、同じグラフを描いても描き方一つで、いかような表現にもなりがちである。グラフの魔術にならないよう心がけなければならない。

今回は統計グラフの種類について述べてみたい。

(統計課 伊藤 宰)

- (参考) 新しい統計グラフの作り方
 友安克一 第一法規
 統計グラフ作成の手引
 小野正明 全国統計協会連合会



中学生の両親への思いと期待
 茨城県統計グラフコンクール 2席
 統計グラフ全国コンクール 7席
 結城市立結城南中学校
 3年 石上 山 政 夫
 野 野 君 夫
 崎 崎 久

新 着 資 料 案 内

下記の資料は、2月中に行政資料室に到着した主なものです。このほか、年鑑・年報・月報・各種計画書・報

告書・法令・教養・参考書・雑誌など数多くきておりますので御利用下さい。

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
中央官公庁関係				
昭和48年 科学技術研究調査報告	48	B5	215	総理府 統計局
" 貯蓄動向調査報告	〃	〃	170	〃
昭和49年 労働力調査特別調査報告	49	〃	36	〃
昭和48年 住宅統計調査報告その6 山形県	48	〃	59	〃
" " その7 福島県	〃	〃	59	〃
" " その11 埼玉県	〃	〃	59	〃
" " その12 千葉県	〃	〃	59	〃
" " その27 大阪府	〃	〃	61	〃
" " その32 島根県	〃	〃	59	〃
" " その33 岡山県	〃	〃	59	〃
" " その40 福岡県	〃	〃	59	〃
" " その41 佐賀県	〃	〃	59	〃
" " その43 熊本県	〃	〃	59	〃
" " その45 宮崎県	〃	〃	59	〃
" " その47 沖縄県	〃	〃	59	〃
日本統計月報	50.1	〃	128	〃
日本農業の地域構造	49	〃	163	農林省 統計情報部
農林水産統計月報	50.1	〃	97	〃
関東の畜産統計	49	〃	42	関東農政局 情報部
昭和49年度消費者動向予測調査	〃	〃	21	経企庁 調査局
法人企業投資動向調査報告	〃	〃	14	〃
昭和49年版陸運統計要覧	48	〃	232	運輸省 情報管理部
昭和48年度関東郵政局統計年報	〃	〃	183	関東郵政局 経理部
要覧 第7号	〃	〃	116	茨城食糧事務所
昭和48年度営業成績	〃	〃	38	東京北鉄道管理局
茨城県関係				
昭和48年度生活福祉部の概要	48	B5	322	県民福祉課
" 青少年行政のあゆみ	〃	〃	90	青少年課
県政モニタ一記録	49	〃	98	広報課
漁船統計表	48	B4	61	水産施設課

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
中学校生徒の卒業後の進路状況調査報告書	49	B5	77	教育庁総務課
県内市町村関係				
土浦市史編集資料第23編	49	B5	140	土浦市史編さん委員会
都道府県関係				
青森の姿	48	B5	143	青森県統計課
新潟県地域産業構造調査結果報告書	"	"	138	新潟県 "
昭和49年にいがたの商業	49	"	114	"
昭和48年東京の工業	48	A4	407	東京都統計部
神奈川県個人企業経済調査結果報告書	"	B5	37	神奈川県統計調査課
昭和48年度山梨県税務統計書	"	"	203	山梨県税務課
昭和49年静岡県勢要覧	49	B6	179	静岡県統計課
富山県法人企業統計調査報告書	48	B5	51	富山県統計調査課
昭和47年度岐阜県市町村民所得	47	"	83	岐阜県統計課
昭和49年度事務事業概要	49	"	79	三重県 "
消費者物価の動き	"	"	68	大阪府 "
昭和48年工業統計調査結果表	48	B4	373	"
"工業統計調査結果報告書	"	B5	229	奈良県調査課
"鳥取県工業統計調査結果報告	"	"	69	鳥取県統計課
"広島県統計年鑑	"	"	337	広島県 "
昭和49年県民の生活意識	49	"	82	香川県統計調査課
香川県統計要覧'74	"	B6	158	"
昭和48年長崎県の工業	48	B5	135	長崎県統計課
宮崎県勢要覧	"	A6	206	宮崎県 "
会社・団体等関係				
茨城県たばこ史	49	A5	913	茨城県たばこ耕作組合連合会
大阪工業会60年史	"	B5	391	大阪工業会

統計ニュース

— 4月の主な行事 —

- | | | | |
|---------|--------------------|---------|----------------------|
| ○ 1日 | 国勢調査茨城県実施本部設置 | ○16~17日 | 消費者動向予測調査主管課長, 担当者会議 |
| ○ 1~4日 | 事業所統計調査打合せ(第1次) | ○17~18日 | 全国統計主管課長会議 |
| ○ 7日 | 全国統計主管課庶務主任者会議 | ○21~24日 | 学校基本調査事務打合せ(高校) |
| ○ " | 法人企業投資動向調査課長会議(東京) | ○ 30日 | 市町村統計事務担当者会議 |
| ○ 7~11日 | 学校基本調査事務打合せ(市町村) | | |
| ○14~18日 | 学校保健調査事務打合せ | | |